

アウンコンサルティング発表 2016年のSEO動向総括、2017年の予測 ～Googleが行うSEOに対する施策動向と予測～

アウンコンサルティング株式会社(東証二部:2459、本社:東京都文京区、代表取締役:信太明、以下アウンコンサルティング)は、アジア8拠点で、マーケティング(SEM(検索エンジンマーケティング)サービス、インターネット広告など)、アセットなどのグローバルコンサルティングを展開しています。

また、アジアにおいていち早くSEOを事業化、今年度19期目を迎えています。

この度、2016年におけるSEO動向と、アウンコンサルティングが予測する2017年のSEO動向を発表いたします。

アウンコンサルティング発表 2016年のSEO動向総括、2017年の予測

■2016年のSEO動向総括

2015年に始まったモバイル(スマートフォン)を重視したアルゴリズムのアップデートが続き、2016年も多くのアップデートが実装されました。例えば、まだ評価項目にはなっていないと言われるものの、存在感が増す「AMP(Accelerated Mobile Pages)」の導入や、「モバイルフレンドリー」のアップデートなどが挙げられます。中でも最も大きな出来事は、10月15日、11月5日に発表された「モバイルファーストインデックス」です。

検索ユーザーがPCよりモバイルを使用している現状を踏まえ、Googleはモバイル(スマートフォン)の価値を評価し、ページ自体の評価もモバイルを重視していくという内容です。これまではPCページが評価の主軸であり、モバイルページの評価項目が追加されることがあっても影響があるのはモバイル(スマートフォン)検索結果ページのみでしたが、今後はモバイルの評価がPC検索結果にも影響することになります。

実装時期は現在未定です(2017年1月以降と言われていますが、こちらに関してはGoogleの動きを注視していく必要があります)。

その他の大きな変化は、これまで大きな順位変動を起こしたパンダアップデートやペンギンアップデートがコアアルゴリズムの一部として組み込まれたことです。ペンギンアップデートについては、リアルタイム化されており、外部リンク評価は常に行われている状況です。

<2016年の主な出来事>

・Google、新しいモバイルフレンドリーアップデートの展開(3月17日、5月13日)

3月、モバイル検索においてモバイルフレンドリーのランキング要素を5月よりさらに高めると公式ブログで発表され、5月にジョン・ミュラー氏がアップデートの完了を発表しました。

・不自然な発リンクを持つサイトに対し、ガイドライン違反警告(4月11日)

今まで実施されていたペナルティは、不自然な被リンクがあるサイトに対して行われたものでした。

しかし、本警告不自然な発リンクがあるサイトに対して行われています。今回は一過性の警告でしたが、今後同様のアップデートが行われていく可能性もございます。

・インタースティシャル広告を表示するモバイルページの評価が下がる(8月24日、8月29日)

2015年にアプリインストール訴求のインタースティシャル広告についてはページ評価を下げることもあると発表していましたが、今年の8月にはアプリ以外のインタースティシャル広告(一部の場合を除く)も対象とすると発表しました。尚、この評価変更は1月10日を予定しています。

・ペンギンアップデートコアアルゴリズム化&リアルタイム化(9月23日)

2015年末から噂が流れていましたが、2年ぶりに更新されたペンギンアップデートはコアアルゴリズムに組み込まれ、リアルタイム化までされたため、今後は常に大きな順位変動が起こる可能性を帯びています。

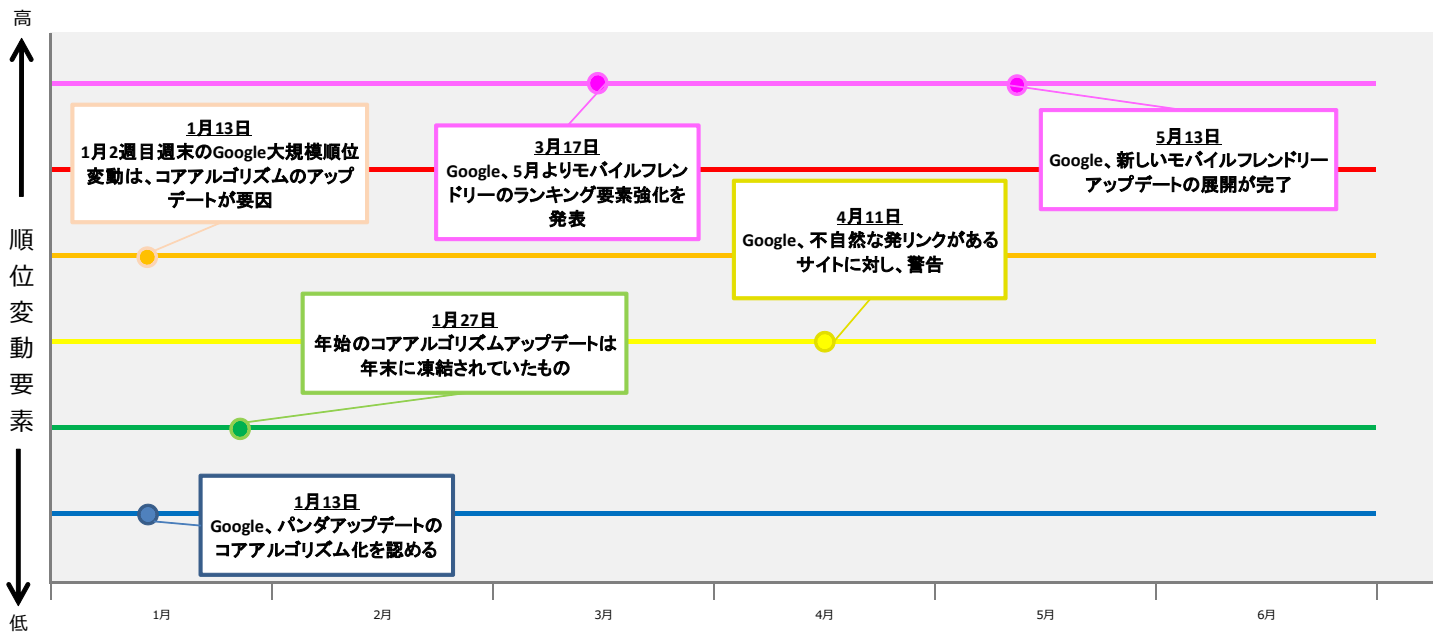
・モバイルファーストインデックス(検索結果のモバイル評価優先)(10月15日、11月5日)

今まで行われていたサイト順位決定要素は、PCから見たページの評価を重度していました。Googleの検索ユーザーのデバイスシェアでモバイルがPCを上回っても、今まではモバイル向けの対策や機能の導入にとどまっていた。今後、順位決定要素はモバイルから見たページの評価に移行されます。尚、実装時期は未定ですが、順位変動が起きることが想定されます。

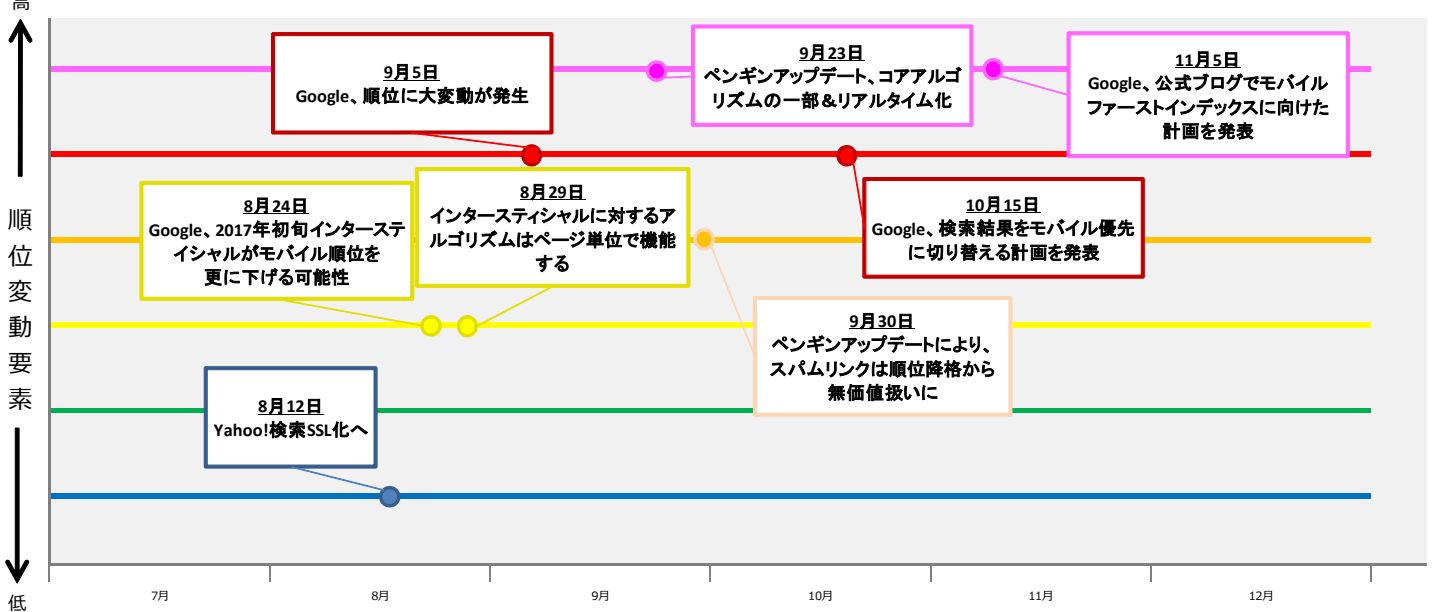
上記以外にも、「モバイルフレンドリーツール」のアップデートなど、モバイルに対して影響がある更新が多く行われておりました。

2016年各月の動向や詳しい内容については、以下の表をご覧ください。

2016年1月～6月



2016年7月～11月



■2017年の予測

<モバイル(スマートフォン)最優先>

実装時期が明確になっておりませんが、2017年1月以降にGoogleによる「モバイルファーストインデックス」が実装される予定です。2015年にモバイルフレンドリーが実装され、2016年にもモバイルフレンドリーのアップデートが行われたことで、徐々にモバイルへの影響が強くなっていました。今後PCの検索数が増加し、デバイスシェアが再度逆転することは考えにくいいため、基本的にはモバイルファーストでの更なる変更や進化が考えられます。もしこれからサイト制作を想定している場合は、モバイル(スマートフォン)重視(レスポンシブであれば基本的に問題ありません)で制作を始める必要があります。

〈新アップデート(新アルゴリズム)の実装〉

こちらについては予測というより、予想に近い内容になります。ウェブマスターたちを戦々恐々とさせていたパンダアップデートやペンギンアップデートはコアアルゴリズムの一部となりました。今、最も注意すべきなのはモバイルファーストインデックスですが、これはアルゴリズムというよりモバイルの最適化を促すものです。ここでいう新アップデートとは、2015年発表されたAIアルゴリズム「Rank Brain」のようなものです。ただこちらは新アルゴリズムではありませんが、発表された時点で既にコアアルゴリズムの一部でした。今後新しいアップデートになると考えられるのは、2016年4月に発覚した不自然な発リンクの削除ではないでしょうか。手動で実施されているとのことですが、こちらの内容を自動化し、新しいアップデートや新アルゴリズムとして加えていくことも想定されます。

〈2017年に向けて〉

何度も繰り返しますが、既に実装が決定している、「モバイルファーストインデックス」は重要です。今後、検索アルゴリズムは、PCからモバイルへ評価軸が移る年となり、大きな変化が起きることが予想されます。また、コアアルゴリズム化されたパンダアップデート、ペンギンアップデートなどに倣えば、「サイト(ページ)のコンテンツの充実」と「被リンクの重要性」は引き続きサイト評価に大きな影響を与えるでしょう。現在、Googleでは「記事の内容がオリジナルかどうか」「情報量はどうか」「ユーザーがその情報へと辿り着く回路は問題ないか」といった、あくまでも全てのサイトで共通して判断できる情報でサイトの評価をしています。

しかし、コンテンツの信憑性など、人的判断が必要な内容(特に専門的知識の人的判断は必要なもの)については、判断が出来ていません。2012年に起こったペンギンアップデートは、対象ページの被リンク元を人的に確認し、警告を出していました。2016年4月に実施されたページ内からの発リンクに対する警告も、人的確認が行われています。

また昨今、日本においても一部のサイトで騒がれている通り、コンテンツの内容や信憑性、オリジナリティといったページの本質的な価値を改めて見直す必要性も発生しております。運営者側の方針や倫理感等にも寄りますが、こういった経緯を見ると、今後Googleとしてもテクノロジーの進化によってページのコンテンツの信憑性や価値を更に正確に判断し、それがサイトの評価に繋がっていくということもあると考えられます。

当社としても、大きな変化がおきている検索市場に対し、お客様の期待に応えられる価値を提供できるよう日々多くの事象を分析し、正確な情報を発信できるよう尽力して参ります。

2016年SEO動向			
日付	国	動向情報	順位変動
1月13日	世界	1月2週目の週末に起きたGoogleの大規模な順位変動は、コアアルゴリズムのアップデートが要因	高
1月13日	世界	Google、パンダアップデートがすでにコアアルゴリズムの一部となっていることを認める	低
1月20日	世界	Google、検索結果からアプリを直接インストールできる機能をテスト中	-
1月20日	世界	Googleウェブマスターサイトがリニューアル	-
1月21日	世界	Google、AMPエラーレポート機能をSearch Consoleへ追加	-
1月27日	世界	年始のコアアルゴリズムアップデートは年末に凍結されていたアップデートが一気にきたもの	高
1月29日	日本	Google、AMP導入ガイドの日本語版を公開	-
2月3日	世界	HTTPからHTTPSへ移行してもPageRankは失われない	-
2月17日	世界	Googleが100以上の言語を翻訳可能に	-
2月23日	世界	Google AdWords、デスクトップ検索結果右サイドの広告表示枠を廃止	-
2月24日	世界	Google、モバイル検索結果へAMPページの表示を開始	-
2月24日	日本	Yahoo!カテゴリ、Yahoo!知恵袋との連携を開始	-
3月3日	世界	Google、多言語によるAMP NewsLab オフィスアワーを実施	-
3月5日	世界	Google社員、もうペンギンアップデート更新予定について推測をしないと発言	-
3月9日	世界	Google、ツールバーへのPageRankの表示を廃止	-

2016年SEO動向			
日付	国	動向情報	順位変動
3月15日	世界	Google、まったく新しいページのランキング評価付けには、対象サイトの権威性を使用していると認める	低
3月17日	世界	Google、5月よりモバイルフレンドリーのランキング要素をさらに強化	高
3月18日	世界	Googlebotのスマートフォン用ユーザーエージェントが来月更新予定	-
3月24日	世界	302リダイレクトでもPageRankは渡す	低
3月29日	世界	PDFとHTMLページで同じコンテンツを持っていても気にすることはない	-
3月31日	世界	Googleモバイル検索へのAMPページ表示は日本を含めた12カ国にて動作している	-
4月5日	世界	Googleが検索品質評価ガイドラインを更新	-
4月6日	世界	ページをローカライズする際には、Altタグもローカライズすること	低
4月9日	世界	301、302、307などのリダイレクトをGoogle社員が詳細に説明	-
4月11日	世界	Google、不自然な発リンクを持つサイトへ警告	低
4月12日	世界	1つのサイトにモバイルフレンドリーオプションを複数織り交ぜて使用しても良い	-
4月14日	世界	米Google検索結果のローカルパックにガソリン価格が表示されるように	-
4月16日	世界	フッターコンテンツは主要なコンテンツとしては扱わない	-
4月19日	世界	GoogleツールバーからPageRankが完全に消滅	-
4月21日	世界	手動ペナルティが解除されるのと同時に必ずしも自動ペナルティは解除されない	-

2016年SEO動向			
日付	国	動向情報	順位変動
5月7日	世界	Google検索のほとんどのアルゴリズムアップデートは告知されずに行われる	-
5月13日	世界	Google、新しいモバイルフレンドリーアップデートの展開が完了	中
5月13日	世界	Google Analyticsの画面上でSearch Consoleの数値がより便利に閲覧可能に	-
5月18日	世界	Google、新しいモバイルフレンドリーテストツールを公開	-
5月18日	世界	Google、検索結果の新しいフォーマット「リッチカード」を導入	-
5月21日	世界	ペナルティを受けたサイトから安全にリダイレクトする方法はない	-
5月24日	世界	Google、Search Consoleに複数サイトのレポートをまとめられるプロパティセットを導入	-
6月1日	世界	Google 音声検索による検索結果は通常と変わらない	-
6月2日	世界	次のモバイルフレンドリーアップデートにはモバイルページの表示速度も要素として含まれるらしい	-
6月3日	世界	Googleがサイトのモバイルフレンドリー度を調べる新しいツールを公開	-
6月15日	世界	Googleアドセンスのペナルティと自然検索結果の評価は直接関係しない	-
6月21日	世界	アクセス可能なキャッシュがなくても検索結果にはランキングされる	-
6月24日	世界	Rank Brainアルゴリズムにスコアはない、最適化することもできない	-
6月24日	世界	「AMPはこの先、大きなものになるだろう」とGoogle社員が発言	中
6月24日	世界	モバイル専用のインデックスはいまだ開発中	-

2016年SEO動向			
日付	国	動向情報	順位変動
6月25日	世界	オーサーシップはランキング要素として全く使用していないため、マークアップを解除しても問題ない	-
7月1日	世界	製品の価格はランキング要素ではない	-
7月6日	世界	サイトマップのURLを変更しても順位やクローリングに支障はない	-
7月9日	世界	ペンギンアップデートははまだ未更新のまま	-
7月12日	世界	異なるドメインへの発リンクが一本もなくとも、ペナルティにはならない	-
7月12日	世界	短い記事があってもペナルティにはならない、ユーザーの事を考えるべき	-
7月20日	世界	AMP ProjectがAMP対応で高速表示される広告A4Aを紹介	-
7月25日	世界	ウェブスパム問題よりも優先される事項とは	-
7月28日	世界	301や302など、いかなる30xリダイレクトもページランクは失われない	-
7月28日	世界	Google検索上でスニペットに絵文字が入っていてもペナルティ対象にはならない	-
8月3日	世界	Google、AMP表示がモバイルの全検索結果に及ぶ開発者プレビューを公開	-
8月4日	世界	大量のワイルドカードサブドメインを使わない限り、サブドメインもサブディレクトリも扱いは同じ	-
8月6日	世界	JavaScriptやAJAXをクローリングするための特別なGoogleBotはない	-
8月8日	世界	アダルトサイトからのリンクを自動的にスパムとは見なさない	-
8月8日	世界	すべての30xリダイレクトはページランクを薄めることはないが、正規化を伝えるなら301がベスト	-

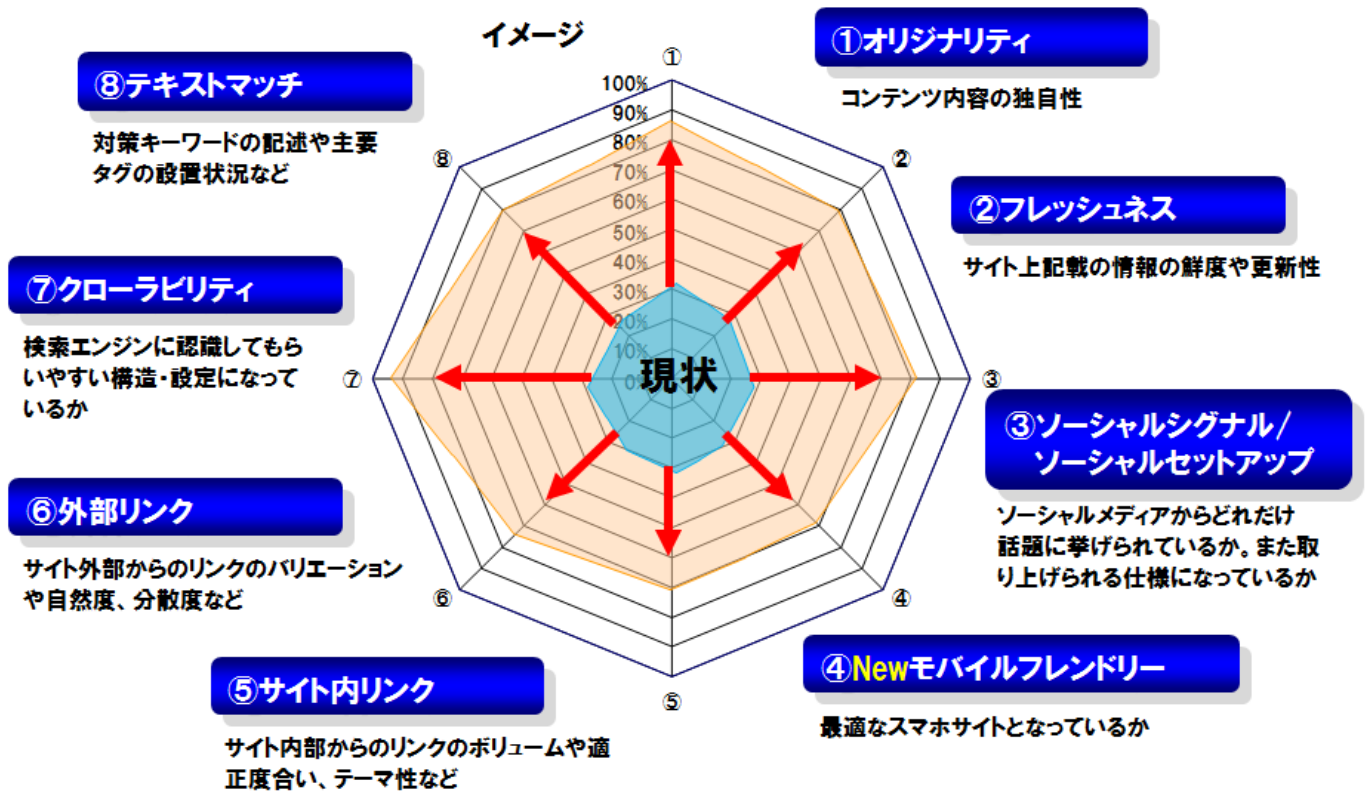
2016年SEO動向			
日付	国	動向情報	順位変動
8月11日	世界	サイトのコンテンツと同内容の、ダウンロード可能なPDFがサイト内にあっても問題ない	-
8月12日	世界	リッチスニペットが表示されることとXMLサイトマップがあることは関係がない	-
8月18日	世界	canonicalタグは画像ファイルには対応していない	-
8月24日	世界	canonicalタグはPDFには対応している	-
8月24日	世界	Google、2017年初に煩わしいインターステイシャルが表示されるページのモバイル検索順位をさらに下げる可能性も	高
8月26日	世界	「煩わしいインターステイシャルの診断ツールを提供する予定はない」とGoogle社員が発言	-
8月29日	世界	煩わしいインターステイシャルに対するアルゴリズムはページ単位で機能する	高
8月31日	世界	Android版Googleアプリ、端末にインストールされているアプリから素早くコンテンツを見つける「アプリ内」検索を実装	-
8月31日	世界	Google、モバイル検索からスマホ対応のラベル表示を停止	-
9月5日	世界	Google、順位に大変動が発生	高
9月8日	世界	Google、ウィジェットリンクに対して注意を喚起	-
9月8日	世界	Google、ローカルナレッジパネル内に、新たに「ウェブ上のレビュー」の項目を追加	-
9月10日	世界	Bingのホームページがリニューアル	-
9月12日	世界	Google、著作権侵害対策の取り組みをまとめたレポートをリリース	-
9月12日	世界	Google、ローカル検索の口コミに“役に立ちましたか？”ボタンを試験導入	-

2016年SEO動向			
日付	国	動向情報	順位変動
9月13日	世界	Google、AMPを推進する#AMPlifyキャンペーンを開始	-
9月14日	世界	GoogleがAMPの始め方について説明 #AMPlifyキャンペーン	-
9月16日	世界	Googleモバイル検索上にサムネイル画像が表示されるように	-
9月20日	世界	煩わしいインタースティシャルへのペナルティはスクロールでのみ出現するものも含まれる	中
9月21日	世界	米Google、通常のモバイル検索結果へのAMPページ表示を正式に公開	-
9月21日	世界	AMPページはアプリのディープリnkよりも優先して表示される	-
9月23日	世界	ペンギンアップデートが2年ぶりに更新、コアアルゴリズムの一部となりリアルタイム化へ	高
9月23日	世界	ペンギンアップデートの展開は今後完了することはない	-
9月27日	世界	Googleが顧客サイトをAMP化するための8つのヒントを公開 #AMPlifyキャンペーン	-
9月30日	世界	ペンギンアップデートにより、スパムリンクは順位降格から無価値扱いに	高
9月30日	世界	Googleがウェブマスターフォーラムに寄せられたAMPに関する質問を紹介 #AMPlifyキャンペーン	-
10月8日	世界	旧サイトのすべてのページから新サイトのトップページへ301リダイレクトをかけると、Googleにはソフト404と見なされる	-
10月12日	世界	ペンギンアップデートはサイトへリンクしているリンク元のソースを見ている	-
10月12日	世界	国や言語が違うリンクとスパムとの関連性はない	-
10月12日	世界	Googleはリンクにペンギン・フッター・否認などのラベル付けをしている	-

2016年SEO動向			
日付	国	動向情報	順位変動
10月15日	世界	Google、検索結果をモバイル優先に切り替える計画を発表	高
10月19日	世界	AMP用のXMLサイトマップを用意する必要はない	-
10月20日	世界	煩わしいインタースティシャルのペナルティはサイト離脱時に表示されるものには適用されない	-
10月20日	世界	HTTPSのランキングシグナルはURLによって判断される	低
11月5日	世界	モバイル ファースト インデックスに向けて	高

■アウンコンサルティング SEO サービスのご紹介

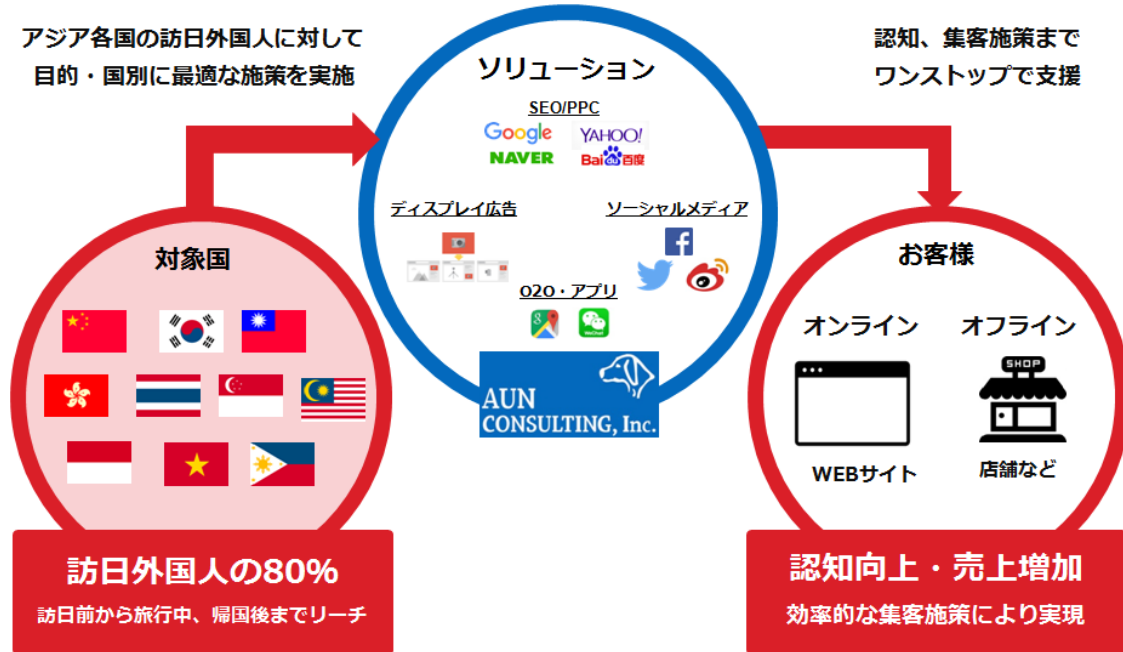
検索エンジンのアルゴリズムは、その時々に変化し、常に進化しています。ただし検索エンジン側が追求しているのは目先の小手先の物ではなく、ユーザー視点に沿った本質的なサービス改善です。アウンコンサルティングのSEOは、“ノスパムSEO”を提唱し、小手先のテクニカルな部分に囚われることなく、ページ(サイト)とユーザーをマッチングさせるために、本質的なサイトのあるべき姿を追求しサービス提供を行ってまいります。



■アウンコンサルティングのインバウンドマーケティングサービスのご紹介

インバウンドマーケティングは国によって、訪日回数や観光先など好まれるポイントや消費金額が異なるため、各国ごとに適したマーケティングを行うことが必要です。

アウンコンサルティングは弊社現地拠点リソースや蓄積ノウハウを活用し、対象国にあわせて最適な施策を組み合わせ、認知・販促効果の最大化を支援致します。



アウンコンサルティングでは、SEO(検索エンジン最適化)、PPC(検索連動型広告)、ソーシャルメディア、スマートフォン広告などのグローバルマーケティングサービスを、日本語だけではなく、外国語も対象に行っています。現在48の国と地域にサービス実績があり、英語、中国語(簡体字、繁体字)、タイ語やその他の外国語にも幅広く対応しています。また、台湾、香港、フィリピン、タイ、シンガポール、韓国の海外6拠点を生かし、アジアの現地情報やグローバルインターネットマーケティングにおけるナレッジを蓄積しております。グローバルマーケティングについて、また、現地情報の収集の際にも是非ご相談ください。

【グローバルマーケティングのサービス概要】

URL: <http://www.globalmarketingchannel.com/promotion.html>

調査概要

【調査主旨】

アウンコンサルティング発表 2016 年の SEO 動向総括、2017 年の予測

【調査要綱】

- ・ 調査機関:アウンコンサルティング調べ
- ・ プレスリリース本文中に出てくる各社サービス名称は、各社の登録商標または商標です。
- ・ 本プレスリリースをご掲載される場合、『アウンコンサルティング調べ』とご記載の上、弊社までご連絡をお願いいたします。

【参照・参考】

- ・ Google ウェブマスター向け公式ブログ
<https://webmaster-ja.googleblog.com/>
- ・ Google ジョン・ミュラー氏公式 Google+アカウント
<https://plus.google.com/collection/oSHR9>
- ・ Google Japan Blog
<https://japan.googleblog.com/>
- ・ Google Inside Search
<https://www.google.com/insidesearch/howsearchworks/thestory/index.html>



アウンコンサルティング株式会社

[事業内容]

東京、沖縄、台湾、香港、フィリピン、タイ、シンガポール、韓国のアジア8拠点で、SEO、PPC(リスティング広告)、ソーシャルメディア、リサーチなどのグローバルマーケティング事業及びアセット事業を展開

[設立] 1998年6月8日

[本社] 東京都文京区後楽 1-1-7 グラスシティ後楽 2F

[代表者] 代表取締役 信太明

[資本金] 341,136千円 (2016年8月末現在)

[URL] <http://www.auncon.co.jp>

[沿革]

1998年6月	千葉県松戸市で設立
1998年9月	福島県福島市へ本社移転
1999年10月	SEOコンサルティングを開始
2001年1月	東京営業所を東京都文京区に開設
2002年11月	PPC(リスティング)広告を販売開始
2002年4月	東京都文京区に本社移転
2005年11月	東京証券取引所マザーズ市場上場
2006年12月	沖縄支店を沖縄県那覇市に開設
2008年4月	タイ・バンコクに現地法人設立
2010年6月	台湾・台北に現地法人設立
2010年9月	香港、韓国・ソウルに現地法人設立
2010年11月	シンガポールに現地法人設立
2015年6月	フィリピンに現地法人設立

[プレスリリースに関するお問合せ]

広報担当 七原 TEL:03-5803-2739 /MAIL:pr@ auncon.co.jp(ただし、@は半角)